

広島市植物公園

見どころ案内

クランベリー (ツツジ科)

ツルコケモモのなかまです。サクランボのようなかわいらしい実が鈴なりについています。酸味が強いので生食には向かず、ジャムやソースなどに加工されます。

シュウメイギク

(キンポウゲ科)

中国原産で、アネモネの仲間ですが、秋に咲きます。清楚な白や淡いピンクの花を咲かせています。

バラ園 (バラ科)

いよいよ四季咲き大輪や中輪房咲き品種の秋の開花が始まりました。秋の冷涼な空気の中、花色も冴え、香りもお楽しみいただけます。

フジバカマ (キク科)

秋の七草の一つ。淡い赤紫色の花が咲いています。準絶滅危惧種。園芸店で販売されているものはほとんど雑種です。10月初めからアサギマダラ(渡り蝶)が飛来しています。

コスモス迷路 (キク科)

花の迷路がずいぶん賑やかになりました。見頃を迎えています。

カキノキ・ロウヤガキ

(カキノキ科)

ロウヤガキはツクバナガキとも呼ばれ、盆栽仕立てにされます。小さめの実を鈴なりにつけています。

ベニマンサク

(マンサク科)

全国的にはマルバナキの名で知られています。紅葉が始まりました。

特別企画展

「毒と薬は紙一重」

～11月30日

用法や用量によっては毒にも薬にもなる植物を、写真やパネルで紹介しています。

ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸び、大きなカーテンを作っています。

サボテン展

～10月15日(日)

サボテンやハオルチアなど多肉植物も展示しています。

コショウ (コショウ科)

スパイスとしておなじみ実がついています。これから熟すと赤くなります。

大温室改修のため休館中

リニューアルオープン
は平成30年春ごろです。
(予定)

ハンキングバスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンキングバスケットがあり、セロリア、ユーフォルビア、ジニア、ツタなどを使い、秋バージョンに美しく彩りました。
[日本ハンキングバスケット協会 ハンキングバスケットマスター作]

